

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4-IV-8

4-IV-8

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ピーク時の宿泊施設確保に向けた本土側との連携
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡観光交流機構
事業(施策)名	8 宿泊施設連携体制の構築	関連団体	新潟市観光推進課、長岡市観光企画課、上越市魅力創造課、佐渡市観光振興課、県観光協会
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、佐渡と新潟本土を繋ぐ地域を中心に県内全域での連携を図る。 【事業内容】 ○ 本土側の関係機関と連携を図り、島内の宿泊予約状況を随時確認できる情報共有体制を構築する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 宿泊施設連携体制を構築する。		
これまでの実績	○ 佐渡クリーン認証制度の開始(令和5年3月終了) ○ トキめき佐渡・新潟観光圏事業により、モニターツアーを開催(実施日:令和2年11月28日～30日)		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● インバウンドの復活に伴い、コロナ禍で整備をしてきた各種モニターツアーを開催する。 ● 新潟－佐渡共有の観光圏ホームページ本体の繁体字対応を行い、広告を行う際に直接HPに誘導できるようにする。 【R6年度実績】 ● モニターツアーという形での実施はできなかったが、トキガイドや笹川ガイド、金銀山ガイド、鶴子銀山を案内するガイド、祭り時のローカルガイドの活用(相川)など、様々なガイドを活用した新たなプランを造成した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ (B) ・ C] ◇ モニターツアーという形での実施はできなかったが、トキガイドや笹川ガイド、金銀山ガイド、鶴子銀山を案内するガイド、祭り時のローカルガイドの活用(相川)など、様々なガイドを活用した新たなプランを造成した。今後も、通常ガイド以外でより利用が促進できる形が整えられた。		
課題	■ 稼働できるガイドに偏りがあり、プラン自体が俗人的になりがちである。より持続可能にしていくためにはガイド内容を実施できるガイド内での情報共有などが必要である。		

A:予定を上回る進捗
B:概ね予定どおり
C:遅れている。